

道德科学習指導案(本次案) 3 学年

主 題 名 『生きる喜びを知ろう』

D1 生命の尊さ（生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。）

教材 「いのちより大切なもの」 星野富弘（著）

- 1 本時の位置 (全1時間扱い中の第1時)
- 2 本時の主眼

元気な子どもたちが事故で首から下が動かなくなった星野富弘さんの気持ちを考える場面で、最初は星野さんがかわいそうだと思いながらも星野さんの心境の変化を話し合い、実際に口には鉛筆をくわえて文字を書くことを通して、健康であることのありがたみに気づき、努力の大切さを学び、星野さんのような自分でありたいと願うことができる。

- ### 3 指導上の留意点

- ・時系列のエピソードが時間を空けて2回出てくるので子どもがしっかりと場面をとらえられるようにエピソードを簡易化して大事なポイントをわかりやすくして子どもが飽きないように気を付ける。
- ・キーワードとなる言葉を丁寧に読む。
- ・子どもが考えた星野さんの気持ちを板書する際に喜怒哀楽で色分けをする。

4 本時の展開

階	学習活動	予想される児童の反応	嚀	指導・援助と評価
導	1 星野富弘さんが書いた字を見て何歳の方が書いたのか考える。	・6歳くらいだと思うなあ。 ・僕より下手だよ ・小学校2年生くらいだよ ・へたっぴ～ ・意外と17歳くらいかもしれないよ。	3	○子どもが興味関心を持って資料に出会うことができるように何も言わずに星野富弘さんが書いた字をICTの描画カメラを使用して黒板に張り出し、次のことを問う。 「みんなより字うまいと思う？」
展	2 26歳の男性が書いたことを聞き、星野さんが事故で首から下が動かなくなったエピソードを聞く。	・えーかわいそう。 ・何もできないじゃん。 ・前まで自由に動いていた体が動かなくなったらどうやって生活していけばいいんだろう ・サッカーもできなくなっちゃうのかな	3	○けがの重大さや体が動かなくなるという事実がしっかりわかるようにエピソードを音読する際に先ほどまでの進行の調子と変えてゆっくり読み上げる。
開	3 口に鉛筆を加えて字を書いてみる	・先生へたくそ～ ・星野さんの字より汚いよ！ ・実際にやってみたら難しい。 ・星野さんがとても努力してここまでの字が書けるようになったんだろうな。	10	「みんな星野さんよりうまく書ける？」 ○スムーズに字を書けるように教員がお手本を見せる。 ○抵抗がある子どものためにティッシュを用意する。
	学習問題 字も書けないくらい体が動かなくなった星野さんの気持ちを考えてみよう。		5	○星野さんの心情の変化を大事にしたので、板書の際キーワードをわかりやすくする。 ○自分の体が不自由なく動くありがたみに気づくことができるように首から下が動かなくなった星野さんの気持ちを考える場面を設ける。
末	4 体が動かなくなった星野さんの気持ちを考える。	・つらくて泣いちゃう ・嫌になって自殺してしまうかもしれない ・車いすでも楽しく生きる！ ・お母さんに八つ当たりしてしまって苦しそうだ ・すごい！字が書けたんだ。		「みんながもし星野さんと同じように事故で体が動かなくなったらどうする？」
	学習課題 努力を続けて美術館を開くようになった星野さんの気持ちはどのように変わっただろう			

5 現在の星野さんの絵を見てエピソードを聞いて星野さんの心情の変化を考え発表し合う。 6 感想をワークシートに書いて発表する。	・嬉しい！ ・少しけど、できることが増えた。 ・自分の力で頑張ったって思うことができる。 ・毎日が楽しく感じられるようになると思う。 ・すごく頑張ってるんだね。 ・つらいついて言ってた時とは大違いだね ・前向きですごいなあ。 ・あんなにすごい絵や文字を書けるようになるんだね。 ・今はもうケガする前より幸せなんじゃないかな。	15 ○努力して何かを成し遂げる喜びに気付くことができるように事故直後と文字を書くことができるようになった後の星野さんの心情の変化を考える場面を設ける。 5 ○文字が書けるようになった喜びが生きる喜びとなったことに気づくことが出来るように現状のエピソードを読む際に生きる喜びに関連するワードを工夫して読む。 評価：健康であることのありがたみに気づき、努力の大切さを学び、星野さんのような自分でありたいと願う気持ちが芽生えること。 評価方法：ワークシート、発言、表情、つぶやき
---	--	---